

# 土橋 ゆうじ

さいたま市議会議員

市政レポート  
2021.03  
vol.22

DOBASHI YUJI Report 発行:さいたま市議会議員 土橋勇司

- 主な内容●
- 市議会2月定例会報告
- さいたま市庁舎の移転について
- 令和3年度当初予算を議決しました
- 代表質問報告
- 各区の「住みやすさ」の差について
- 西部配水場の今後の見通し
- 幹線道路等の街路樹及び歩道の管理について

## 市議会2月定例会報告

### さいたま市庁舎の移転について

この庁舎移転に関して、私が議員活動をするようになって約6年が経ちますが、議会のいかなる場においても賛否を選択するような場面はありませんでした。

今回、初めて市長が方向性を明言した事により、これから議会で本格的な議論をしていく事になります。

という事を踏まえ、早速、予算委員会において「予算(費用)の考え方」や「改めて市民の意見徴収をしていくことの必要性」などを質問・提言しました。

合併当初の20年前と今では市民の皆さまの意識や感覚も違っているだろうし、働き方改革のもと、職場環境の在り方自体も激変している事など様々な事象を考慮しながら、30年、50年先まで見据えた市庁舎のあり方を見極めたいと考えています。

令和3年2月定例会において市長から市庁舎の移転方針が示されました。その主旨は、10年後を目途に「さいたま新都心バスターミナル他街区」に移転をして、現庁舎跡地は多様な世代に愛され、県都・文教都市にふさわしい感性豊かな場所を目指していくという内容でした。



## 令和3年度当初予算 主な新規・拡大事業

- 拡** 油面川排水機場整備事業(令和4年運用開始予定) **4億6,526万円**
- 新** 防災情報のスマートフォン用アプリを構築 ……**1,722万円**  
災害時における避難情報を的確に伝達するため、スマートフォン用の防災アプリを構築し、防災情報伝達体制を整備します。
- 拡** 児童生徒用コンピュータ整備事業 (ICTを活用した学びの改革) ……**9億1,303万円**  
国のGIGAスクール構想により整備した児童生徒1人1台端末の効果を高めるため、全ての市立中学校に大型提示装置(プロジェクター)を整備します。
- 新** 中学校体育館空調設備事業 (上大久保中学校はじめ6校の実施設計を実施) ……**1,847万円**
- 拡** コミュニティバス等の導入及び改善支援 (AI デマンド交通の導入も検討) ……**1,821 万円**  
桜区大久保・中央区西与野地区 乗合タクシーの実証・実験運行開始予定
- 拡** 公民館エレベーター設置事業 (大久保公民館等のバリアフリー化を推進) ……**1億5,352万円**
- 拡** 浦和斎場エレベーター設置事業 ……**2,522万円**  
第2、第3葬祭場へのエレベーター設置のための実施設計等を行います。
- 拡** 障害者支援事業 ……**4,475万円**  
障害者の就労相談支援、雇用創出コーディネーターの事業所訪問による就労の場の拡大、ジョブコーチの職場訪問による定着支援等を実施
- 拡** 一般廃棄物減量施策の推進 (食品ロス及びプラスチックごみ等の削減) ……**1,458万円**

## 新型コロナウイルス感染症対策をさらに充実・強化

2月定例会はその他、新型コロナウイルスのワクチン接種体制の整備、病床確保や患者の受入れを行った医療機関等への補助、PCR検査を行う地域外来・検査センターの設置、自宅療養する患者への食料品の配送など、新型コロナウイルス感染症に対する充実・強化策の推進を確認しました。



←令和3年度当初予算の詳細はさいたま市のホームページをご参照ください。

土橋勇司 市政レポート 2021.03 vol.22

## 代表質問報告

### 会派を代表して質問に立ちました。

2月定例会ではさいたま自民党会派を代表して質問に立ち、各区の『住みやすさ』の差について質問したほか、西部配水場の今後の見通しや幹線道路等の街路樹の今後についての質問を行いました。



## 各区の『住みやすさ』の差について考える!

**Q.**最新の市民意識調査の結果を見ると各区の「住みやすさ」には『差』があります。特に桜区は10区中10位となっており、10年前とポイント数が変わっていません。

このことについて、12年間市政を担ってきた市長に課題の認識と今後の取り組みについて伺いました。

**A.**指摘の通り各区に「差」がある事は事実として受け止めていて課題であると感じている。

桜区においては町谷本太線や大谷場高木線などの都市計画道路の整備も進めてはいるが、全体的に地理的な関係、交通利便性の関係などがポイントの低い要因になっていると考える。地域の課題を細かく把握して、地域の皆さまと協力しながら解決をするために努力を強化していきたい。

### 答弁を受けて一言!!

桜区は「住みやすさ」で10位という事だけでなく、10年間の伸び率を見ても1.9%であり、こちらも最下位となっています。

今後、**新たな公共交通も導入されていくが**、医療や教育環境の向上なども含め、『**地域の声**』を届けるために引き続き様々な場面で提言をしてまいります。

## 西部配水場の今後の見通しは?

**Q.**本市全体の水道施設の中でも、極めて重要な西部配水場(桜区神田)の今後の整備方針について聞きました。

**A.**西部配水場は市民の皆さまに安全な水を届ける必要な施設である。

現在、築造50年以上が経過し、法定耐用年数も間近に迫っており更新に向けて検討を行っている。

更新については、近傍地に仮設の代替施設を設置する方法や新規用地の取得など水運用に影響を与えない手法を慎重に検討していく。

### 答弁を受けて一言!!

昨年の市議会にて、**旧埼玉県衛生研究所跡地(桜区上大久保)への移設はない**と確認をしています。

ですが、施設の老朽化への喫緊の課題であること、同時に、更新の際は**どのような手法であったとしても桜区の街づくりに大きく関係していく事案**でありますので、今後、市の取り組みを注視してまいります。

## 街路樹の今後について考える!!

**Q.**これまで、埼大通りを中心に街路樹の維持管理について提言をしてきました。景観維持は勿論、交通安全上の課題も解決していく必要があります。

今後は道路空間全体を見据えた市全体を包括する管理計画が必要であると提言しました。

**A.**本市には、約2万8千本の中高木の街路樹が植えられていて、安全・快適な通行の確保と景観形成などのバランスをとっていく必要がある。

令和3年度から、本市の街路樹管理における課題解決に向け、**安全な道路空間の核や適正な維持管理を実施するために基本方針の策定に取り組み**ていく。

### 答弁を受けて一言!!

これまで、数年に渡り幹線道路等の街路樹及び歩道の管理について質問を繰り返し、問題提議を訴えてきました。

**今回は議会答弁で「初」となる、維持管理方針策定の取り組みの時期が明言されました。**

来年度も、皆さまのご意見等を伺いながら引き続き課題解決に尽力してまいります。

さいたま市政への皆さまの声、ご意見・ご要望をお寄せください。

土橋勇司 政務活動事務所 〒338-0814 さいたま市桜区宿110-1  
TEL:048-854-7918 / FAX:048-677-1827  
E-mail:y-dobashi.0110@outlook.com http://y-dobashi.jp//



Facebook

フェイスブックでも情報発信中!!